令和元年第4回
笠置町議会定例会会議録
(第1号)

令和元年12月11日

京都府相楽郡笠置町議会

令和元年第4回（定例会）
笠置町議会 会議録（第1号）

招集年月日	令和元年12月11日 水曜日						
招集場所	笠置町議会議場						
開閉の日時 及び宣告者	開 会	令和元年12月11日 9時30分			議長	杉 岡 義 信	
	散 会	令和元年12月11日 13時33分			議長	杉 岡 義 信	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏 名	出欠	議席番号	氏 名	出欠	出席 8名 欠席 0名
	1	西岡良祐	○	5	大倉 博	○	
	2	西 昭夫	○	6	松本俊清	○	
	3	向出 健	○	7	坂本英人	○	
4	田中良三	○	8	杉岡義信	○		
地方自治法 第121条の 規定により 説明のため 出席した者 の職氏名	職	氏 名	出欠	職	氏 名	出欠	出席 10名 欠席 0名
	町 長	西村典夫	○	商工観光 課長兼総 務財政課 担当課長	小林慶純	○	
	副 町 長	青柳良明	○	建設産業 課 長	石川久仁洋	○	
	職員力向上 担当参事兼 税住民課長 事務取扱	前田早知子	○	人権啓発 課 長	増田好宏	○	
	総務財政 課 長	岩崎久敏		税住民課 担当課長	石原千明		
	保健福祉 課 長	東 達広	○	保健福祉課 担当課長	大西清隆	○	
職務のため 出席した者 の職氏名	議会事務 局 長	穂森美枝	○	議会事務局 次 長	草水英行	○	
会 議 録 署名議員	5 番	大 倉 博		6 番	松 本 俊 清		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に	別紙のとおり						

付した事件	
会議の経過	別紙のとおり

令和元年第4回笠置町議会会議録

令和元年12月11日～令和元年12月25日 会期15日間

議 事 日 程 (第1号)

令和元年12月11日 午前9時30分開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 議案第43号 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例一部改正の件
- 第5 議案第44号 平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件 (追認)
- 第6 議案第45号 平成20年度町営テレビ放送スタジオ機器改修事業の件 (追認)
- 第7 議案第46号 平成30年度笠置いこいの館厨房設備整備事業の件 (追認)
- 第8 議案第47号 平成30年度笠置町戸籍情報システム導入業務の件 (追認)
- 第9 議案第48号 令和元年度笠置町パソコン購入事業の件 (追認)
- 第10 議案第49号 特別職の職員で常勤の者の給与の額の特例に関する条例一部改正の件
- 第11 議案第50号 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例一部改正の件
- 第12 議案第51号 笠置町職員の給与に関する条例一部改正の件
- 第13 議案第52号 笠置町印鑑条例一部改正の件
- 第14 議案第53号 笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件
- 第15 議案第54号 笠置町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件
- 第16 議案第55号 令和元年度笠置町一般会計補正予算 (第7号) の件
- 第17 議案第56号 令和元年度笠置町簡易水道特別会計補正予算 (第1号) の件
- 第18 議案第57号 令和元年度笠置町介護保険特別会計補正予算 (第2号) の件
- 第19 議案第58号 令和元年度笠置町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) の件

開 会 午前9時30分

議長（杉岡義信君） 皆さん、おはようございます。

さて、12月も半ばを迎え、いよいよことしも残すところあと少しとなりました。寒さも厳しくなりますので、しっかりと体調管理をしていただきますようお願いいたします。

本日、ここに令和元年12月第4回笠置町議会定例会が招集されましたところ、御出席いただきまして御苦労さまでございます。本定例会に提案されます案件について慎重な御審議をいただくとともに、議会運営に格別の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長（杉岡義信君） ただいまから令和元年12月第4回笠置町議会定例会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりです。

議長（杉岡義信君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、5番議員、大倉博君及び6番議員、松本俊清君を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合には、次の議席の議員をお願いをいたします。

議長（杉岡義信君） 日程第2、会期決定の件を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月25日までの15日間としたいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 異議なしと認めます。会期は、本日から12月25日までの15日間に決定しました。

議長（杉岡義信君） 日程第3、諸般の報告を行います。

議会報告を行います。

10月10日、京都府町村議会議長会の臨時総会が開催され、不肖、私が京都府町村議会議長会長に就任することとなりました。あわせて10月24日、東京都において開催されました全国豪雪地帯町村議会議長会におきまして理事に就任をいたしました。改めて議員各位の御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

11月5日、ANAクラウンプラザホテル京都で市町村トップセミナーが開催され、坂本副議長と出席いたしました。市町村の新たな行政課題や時事問題等への対応をテーマとした講演を通じ、トップリーダーとしての認識を深め、自治体間競争時代に勝ち残るオンリーワンの自治体づくりに資することを目的に、一般財団法人全国自治協会常務理事の武居丈二氏とジャーナリストの須田慎一郎氏の講演をお聞きしました。

11月13日、東京都において全国の町村議会の総意を結集し、我々町村議会議員が一貫して築き上げてきた地方自治の精神と原則に立ち、住民自治に基づく個性と活力に満ちた町村の実現を期するため、第63回町村議会議長全国大会及び同会の創立70周年記念式典が開催され出席をいたしました。

同日、京都府選出の国会議員と京都府町村議会議長との意見交換を通じ相互の理解、認識を深めるとともに、今後の町村自治のさらなる振興に資することを目的に国政懇談会が開催され出席をいたしました。

翌14日には長野県軽井沢町議会を訪問し、議会の活性化に向けた主な取り組みを御享受いただきました。

11月18日、京都市において市町村議会委員長研修会が開催され、田中議会運営委員長及び西岡総合常任委員長とともに出席をし、長野県飯綱町議会前議長の寺島渉氏及び三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖秀宣氏の講演をお聞きしました。これらに伴いまして、議会会議規則第129条の規定により議員派遣を行いました。

なお、議会運営上、今定例会において不穏当な発言があった場合には、後日、会議録を調査し善処いたします。

次に、町長から行政報告の申し出がありました。これを許します。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 本日、ここに令和元年第4回笠置町議会定例会を招集しましたところ、議員各位には御多用にもかかわらず全員の出席を賜り、厚くお礼を申し上げます。日ごとに寒さが増し、議員の皆様には気候の変化に対し体調管理に御留意いただきますようお願いを申し上げます。

初めに、10月の台風19号を初めとする自然災害により各地で甚大な被害が発生をいたしました。被害に遭われました皆様に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

行政報告の前に、議会の議決を経ないまま契約をしていた事案が5件判明したことにつきまして御報告いたします。

このたび備品購入につきまして、予定価格が700万円以上となるため、本来、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を経る必要がありましたが、組織としての認識不足から議会の議決を経ないまま契約を締結していました。本件につきまして議会軽視につながる重大な問題であり、行政の信頼を著しく失墜させることとなりましたことに、議会並びに町民の皆様に対しまして深くおわびを申し上げます。

このたびの議会の議決を経ることなくされた行為は無効であり、そのまま契約内容を進めていけば、いつまでたっても違法状態の継続となり許されることではありません。おくれればせながら議会の議決をいただければ、無効の行為であっても契約時にさかのぼって有効となる判例がございます。どうか皆様方の特別な御配慮を何とぞよろしくお願いをいたします。

なお、今回の件につきましては、12月5日の議会全員協議会で報告、また翌6日に新聞やホームページで公表をいたしました。法令順守すべき立場でありながら、本来あつてはならない事案であり、今後二度とこのようなことが起こらないよう庁内全体で新たなチェック体制の構築を図るとともに、一層の職員の資質向上に組織を上げて全力で取り組み信頼回復に努める決意でございますので、何とぞよろしくお願いをいたします。

それでは、町政の状況につきまして御報告させていただきます。

11月16日に笠置もみじまつりのメインイベントとして、もみじ公園にて「もうひとつの京都旅する音楽祭～笠置音絵巻～」と題した音楽イベントを初めて開催いたしました。200人を超える方々が来場され幻想的な音色を楽しまれました。また、産業振興会館前では商工会主催によるきじ釜めし等の販売、大感謝祭ビンゴゲーム大会も行われ、大盛況の一日となりました。

次に、ことしで10回目を迎えた御当地鍋フェスタ鍋ー1グランプリを12月1日に開催をいたしました。ことしも多数の方に御来場いただきました。昨年度から実施しましたパークアンドライドやシャトルバスの運行、JR様の協力による増車等により、混乱も少なく開催することができました。皆様の御協力に対し改めて厚くお礼を申し上げます。

今回、本定例会に御提案申し上げます案件は、議事案件は迫認議案5件、補正予算4件を含む16件でございます。よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げまして、行政報告とさせていただきます。

議長（杉岡義信君） これで諸般の報告を終わります。

議長（杉岡義信君） 日程第4、議案第43号、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例一部改正の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第43号、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例一部改正の件について、提案理由を申し上げます。

地方自治法（昭和22年法律第67号）の一部改正に伴う関連する議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正するものでございます。施行日は、公布の日でございます。よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） それでは、議案第43号、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例一部改正の件について、改正内容を御説明いたします。

新旧対照表にて御説明申し上げます。今回の改正につきましては、第3条中、地方自治法第96条第1項「第7号」を「第8号」に改めるものでございます。

よろしく御審議の上、御承認賜りますようお願いいたします。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑につきましては、全ての議案に対し、同一議題について3回までですので申し添えます。質疑ありませんか。大倉君。

5番（大倉 博君） 5番、大倉です。

この条例の改正案ですけれども、この7号から8号にかわっているのは、私、地方議員の小六法を見たら、平成24年ではもう既に8号になっているわけです。だから、地方自治法は恐らくもっと以前に改正されておると思いますがけれども、これは恐らく、先ほど町長からも説明がありましたけれども、調べられて、次に審議する5件の中の一環だと思うんですけども、この地方自治法の改正、7号から8号に改正になったのは何年ですか。わかれば教えてください。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの大倉議員の御質問にお答えいたします。

今回の地方自治法の一部改正につきましては、昭和61年の自治法の改正に伴うものでございます。

議長（杉岡義信君） 大倉君。

5番（大倉 博君） 5番、大倉です。

それでは、今回提案されていますけれども、公布の日ということは、例えばきょうこれが

通れば、それはあしたからということになるわけですか。それでは昭和61年から現在までの間は、もうこのまま失念されたという形で、そのままなしでいくわけですね。さかのぼって昭和61年にということはありませんか。その辺どうなんですか。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの大倉議員の御質問にお答えさせていただきます。

もし御承認いただけましたら、公布の日からとなりますので本日付での施行となりますので、本日からということで、今回のことにつきましては遡及ということとはできないものと考えております。

議長（杉岡義信君） 大倉君。

5番（大倉 博君） 5番、大倉です。

一応後で議論しますが、議案5件ですか追認の件、そのときにたまたまこれが見つかったということで、木津川市の新聞に報道されたことでいろいろ見直しされて、それは評価しますが、今後こういうようなことをしないように、ほかにも例規集を見れば、まだいろいろあるかもわかりません。それは私もちょっとわかりませんが、具体的にできれば、こういう形が出てくると思うんですけども、余りこういうことのないように、できたらそういうことをしてください。

議長（杉岡義信君） 他にありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。この際申し上げます。全ての議案に対して起立しない者は反対とみなします。

議案第43号、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例一部改正の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第43号、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例一部改正の件は、原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第5、議案第44号、平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件（追認）から日程第9、議案第48号、令和元年度笠置町パソコン購入事業の件（追認）までの5件を一括議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第44号から議案第48号の件につきまして提案理由を申し上げます。

第44号につきましては、平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件についてでございます。

第45号につきましては、平成20年度町営テレビ放送スタジオ機器改修事業の件についてでございます。

第46号につきましては、平成30年度笠置いこいの館厨房設備整備事業の件についてでございます。

第47号につきましては、平成30年度笠置町戸籍情報システム導入業務の件についてでございます。

第48号につきましては、令和元年度パソコン購入事業の件についてでございます。

これら平成19年度から令和元年度におきましての5件の備品購入につきまして、予定価格が700万円以上となることから、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき議会の議決が必要であるにもかかわらず、組織としての認識不足から議会の議決を経ないで契約の締結を行ったものでございます。このことについては議会軽視につながる重大な問題であり、行政の信頼を著しく失墜させることとなりましたことに議会並びに町民の皆様に対して改めておわびを申し上げます。

このままでは違法状態の継続となり、契約について議会の議決がどうしても必要であり、今回改めて追認の議案を提案させていただき、皆様方の御理解をお願いするものでございます。法令順守すべき立場でありながら、本来あってはならない事案であり、今後このようなことがないように庁内全体で新たなチェック体制の構築を図るとともに、再発防止に万全を期することとします。

その方策として、1点目は機構伺い書類の見直しで、新たに物品調達、契約等にかかわる確認表を作成し、物品調達にかかわる一連の起案時に添付することとし、議会に付すべき契

約欄を設け、700万円以上の契約についてチェックすることで複数による確認ができるよう、2点目は、地方自治法第96条議決事件の定期的な職員への意識づけとして、毎年度4月上旬に開催する課長会議において、その内容全般について確認する、また職員研修等においても地方公務員としての法令順守の徹底に継続して取り組む所存でございます。

今回のことにつきましては重ねておわびを申し上げ、追認議案につきまして何とぞ御理解いただきますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） それでは、議案第44号から第48号につきまして説明させていただきます。

議案第44号から議案第48号につきましては、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を経ず契約を締結したため議会の議決を求めるものでございます。

議案第44号では、平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件について追認の議決を求めるものでございます。調達内容は、防災備蓄倉庫2基ほかでございます。契約方法は、指名競争入札です。契約金額は788万5,500円です。契約の相手方は、有限会社平井式ポンプ工業、代表取締役、宮前憲次でございます。

議案第45号では、平成20年度町営テレビ放送スタジオ機器改修事業の件について追認の議決を求めるものでございます。調達内容は、ノンリニア編集機1台ほかでございます。契約方法は、指名競争入札です。契約金額は1,764万円です。契約の相手方は、株式会社教映社、代表取締役、佐藤一男でございます。

議案第46号では、平成30年度笠置いこいの館厨房設備整備事業の件について追認の議決を求めるものでございます。調達内容は、業務用電磁調理器1台ほかでございます。契約の方法は、一般競争入札です。契約金額は972万円です。契約の相手方は、ホシザキ阪神株式会社、代表取締役、丸山暁でございます。

議案第47号では、平成30年度笠置町戸籍情報システム導入業務の件について追認の議決を求めるものでございます。調達内容は、サーバー2台、パソコン2台ほかでございます。契約の方法は、一般競争入札です。契約金額は、戸籍電算化用備品分として1,623万1,169円です。契約の相手方は、株式会社松阪電子計算センター、代表取締役、熊崎孝でございます。

議案第48号では、令和元年度笠置町パソコン購入事業の件について追認の議決を求める

ものでございます。調達内容は、パソコン76台ほかでございます。契約の方法は、指名競争入札です。契約金額は1,452万円です。契約の相手方は、京都電子計算株式会社、代表取締役社長、山本忠道でございます。以上で説明を終わらせていただきます。御審議の上、御決定いただきますようよろしくお願いいたします。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。

質疑についても一括質疑で行います。質疑ありませんか。

坂本君。

7番（坂本英人君） 7番、坂本です。

今回の問題について、この700万円以上のものについてという中で町長、副町長、これを議会に通さなあかんということは認識されておったのでしょうか。

議長（杉岡義信君） 町長。

町長（西村典夫君） こういう事態を受けまして、顧問弁護士さん、また条例などを照らし合わせていただきまして精査をさせていただきました。このまま放置をしていけば違法状態が続いて無効になるというようなことを認識したところでございます。それを克服していくのには、さかのぼって契約の議決をしていただく、そういうことがこの違法状態から脱却できる、そういうことを認識したところでございます。そういう意味におきまして、今回皆様方に特別な御配慮をいただきまして追認をしていただくような議案を提出させていただいたところでございます。

（「議長すみません、質問の答えになっていない、700万円以上を機に議決が要ることを認識されていたかどうかという質問なんで、町長が猛省しておられるのはよくよくわかっておるんです。質問はそういうことじゃないんです」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 町長。

町長（西村典夫君） その議決をいただくことにつきましての認識は持っておりませんでした。

議長（杉岡義信君） 副町長。

副町長（青柳良明君） ただいまの坂本議員の御質問にお答えをさせていただきます。

本件に関しまして、議会の議決を必要とする案件であるということを、そもそも認識が欠落をしておりました。執行部を預かる者として大変申しわけなく思っております。以上でございます。

議長（杉岡義信君） 坂本君。

7番（坂本英人君） 僕自身もこれ認識していなかったんです。僕が知っていれば、決算監査のときに質問ができたのかもしれない。そのように僕も考えております。だから、一議会人として、そこは反省すべき点かなと個人的には考えております。

その中で、経過報告を総務課から提出してもらったと思うんですが、この中で調達に係る関係確認表を見たら所属長の確認印と担当者入力があるんですが、今、町長、副町長、議会人の僕が認識していない事柄、これが担当課長、それで記入者だけの印鑑でいいのかと、僕はこの間総務課長に相談したんですけれども、認識していないのが大半であるのであれば、ここをきちんとみんなの確認印が押せるようなものにしないと再発防止策というものが、どこまでみんなが本気で捉えているのかということが見えなくなるじゃないですか。僕の受けた感覚でいうと、これ全部課長に責任を押しつけているように思ってしまうんですよ。こういうことをすると。そうは思っていないと思うんですが、こういうことをすると人間十色ですから、いろいろな課長の考え方があって、その中で、何で課長が一番管理するんだと、最終的に議決もらわなあかんのやから、みんなの責任やないですか。何でみんなが一つ一つ確認するという事務作業にせえへんのかというのが気になっているんですけれども、総務課長、どのようにお考えでしょうか。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの坂本議員の御質問にお答えさせていただきます。

経過報告書のときにつけさせていただきました確認表につきましては、坂本議員の御指摘のとおり、今のところ担当職員と所属課長、担当課長の印鑑というふうになっておりますが、やはり今回のこのような件につきましては、長の決裁を受けることでもございますし、そこから辺は御指摘を踏まえて、ちょっと改善をさせていただきたいというふうに考えております。

議長（杉岡義信君） 坂本君。

7番（坂本英人君） ほかの自治体では、町長、副町長の印鑑をもらうぐらいの決裁をとる方法もとられている自治体はあります。実際僕も公文書を上げる側で仕事したこともありますので、そのときは実際そうでした。それが近隣の自治体、一部事務組合で行われている事柄ですので、安易に笠置町にそれを導入できるかと僕は思ったので、今回それを要望したいと思っております。

今回これは行政側の仕事の部分の認識と、やはり議会軽視という部分、この2つの問題があると思っていて、議会軽視というものが当たり前に行われているのか、そうってしまったのか、やはりこれはすごく町の大きい課題というか問題だと思っております。それはなぜ

かといったら、ここから人口がだんだん減って行って、直接民主主義を導入するのか否かというふうな自治体が出てくる中で、自分らもそうなるかもしれないと。その中で本当に議会って要らないのと、行政はそういうふうに意思表示しているのかと思ってしまう。少なからずやはり議会って僕は大事だと思っていますし、日々日常過ごしている住民さんが、条例を自分の中に落とし込みながら生きていくということはある程度ないとはいえず、こういう議会という場は、僕は必ず必要だと信じてこの職をやっているんですけども、行政側に本当お願いしたい、議会もある種味方なので、みんなで町をつくらないといけない、そういうふうに僕は認識しているので、議会軽視は本当にやめていただきたい。そうなってしまったからそうなったじゃなくて、やはり最終的に残る事実というのは議会軽視だということを重く受けとめていただきたい。住民の代表で出ている場を、やはり行政も大事に思っほしい。そこについて町長、どう思いますか、元議会人として。

議長（杉岡義信君） 町長。

町長（西村典夫君） 今回の件に関しましても、結果的には議会軽視、そのようになってしまったと思っております。やはりどのようなことに関しましても、やはり議会に審議をお願いし議会の決定を仰いでいく、その後方には町民の方の姿、声がございます。そういう中で、やはり町民の方の御意見、声をくみ取って行政を進めていくということに当たりまして、それはやはり議会を重視していく、それが一番大事だと思っております。今、坂本議員からも言っていただきました私たちこれから、今までなかった時代に進んでいくわけでございます。そういう中で議会、行政が一緒になって、今言っていただきました味方として、仲間としてこれから進んでいかなければならない、みんなで町をつくっていく、そういう思いというのは私も坂本議員と同感でございます。

今後におきましては、そういうことが起こらないように、起こってはならないことでございますし、どんな些細なことでありましても議会の皆様とともに議論を重ねて町政を進めていきたい、そのように思っておりますので、よろしく願いをいたします。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。西岡君。

1番（西岡良祐君） 1番、西岡です。

今回のこの件につきましては、私は監査委員として深く反省しております。見逃したということについて。これは、私深く反省いたしております。

それで、この件については町長が言われるように追認をせざるを得ないかなと私は個人的には思っておりますが、1つ対策についてお伺いしたいと思います。先ほどの説明では、一

応チェックシート的なものをつけて対策していくということで今立てられておりますけれども、先ほど坂本議員が言うたように、やはりこの問題だけではないと思うんですよ。私、確認したいのは請負工事の議決、必要5,000万円以上ですか。これについては問題なく処理されてきているということにおいて、この請負工事の関係のところではどういうチェックをし、対策をされてきたのか、その辺についてちょっとお聞きしたいと思いますけれども、どうですか。

議長（杉岡義信君） 建設産業課長。

建設産業課長（石川久仁洋君） 西岡議員の御質問にお答えしたいと思います。

工事の契約につきましても5,000万円以上の工事、予定価格5,000万円以上については議会の議決を必要とするということで、最近では笠置山線の工事につきまして、平成30年度の議案として出させていただいたことがございます。工事につきまして特段、チェックシートを設けるとか何らかの対策をしているとかということは特段ございません。通常に係が起案いたしまして、課内で回議いたしまして課長、それから副町長、町長という流れの中で起案を成立させているところでございます。ただ、工事につきましては定期的にそういう工事もあることから、係が一応皆認識をしているという中でやっておりますので、そういった今回のようなことは起きていないのではないかとこのように思っております。以上でございます。

議長（杉岡義信君） 西岡君。

1番（西岡良祐君） 1番、西岡です。

今の答弁を聞いていますと、やはり認識をちゃんとやっておったということで、今回のこの備品購入の件については、そういう認識ができていなかったという原因であると思います。そこで対策を立ててもらうのはいいんですけども、このチェックシートはチェックシートでこういう形でやっていってもらったらいいと思います。けれども私、この間の報告会するときにも申しましたけれども、稟議の回覧のときに、やはり誰かが気がつけるような対策、稟議の欄にそういう議決を必要とする稟議だと、稟議がどうかというようなチェック欄を設けてもらったらいいのと違うかという意見も申しています。それともう1点は、今、石川課長のほうからもありましたけれども、その課で起案した稟議は、その課だけの回覧ではなしに、やはり合議制をとっていただいたらどうかと、総務財政課、会計管理、そういうところも必ず合議として稟議を廻すというような制度を、ルールをつくっていただいたら確実になるんじゃないかなと思いますので、意見として申し上げておきます。

そういうことで、今職員力向上ということで公金紛失の対策としてやってもらっておりますが、その辺にもちゃんとこういう認識の教育の項目の中に入れてもらって、対策していただくようお願いしておきます。以上です。

議長（杉岡義信君） 副町長。

副町長（青柳良明君） ただいま西岡議員より御提案また御意見、御指摘もいただきました。

大変貴重な御意見であり、先ほど坂本議員からも事務のやり方について、多くの目でもって確認をする、判こを押すというのは単に判こを押せばいいということではなくて、それをチェックするという意味合いがあるということで、職員が力をつけるという意味でも判こを押す意義があると思っております。稟議の中で、表のところに議会の議決を要する案件であるかどうかということをチェックすること、あるいは議会という関係で取りまとめを行う総務財政課長、確認が必要であるということなど、さまざまな点で改善の検討ができると思っております。

また職員力向上につきましても、現在の取り組みで本当に認識不足が解消できるのかどうか、改めて職員力向上の観点から研修あるいは動議づけ等を検討させていただきたいと思っております。御提案あるいは御意見をいただきましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。

松本君。

6番（松本俊清君） 6番、松本です。

今、西岡議員並びに坂本議員からもいろいろ御意見があったと思うんですが、私の意見として一言述べさせていただきます。

本件の問題に関しては、担当職員の失念によるものという形になっておりますが、そういう内容のものではないと私は思います。物すごく奥が深いということを再認識してもらいたい。

そこで町長、副町長が減給、町長100分の10、副町長100分の5減額するという形にはなり、また課長級の勧告というような処分、こんな処分の問題ではないと私は思います。しかしその反面、こういう問題を提起されたことに対しては、非常に私は敬意をあらわします。

そこで、この問題については町長よりも補佐する副町長、町長は何もかも知っているわけではないですよ。それを補佐する副町長、それと参事、課長級の皆さんの職務に対する取り

組み意識の浅さ、これをどのように思っておられるのか。なぜなら前回、御存じのように公金紛失事件後いろいろ業務の改善、人材育成等のマニュアルをつくられ、また外部研修、課長会議の開催など行われていましたが、結果が出ておりません。その原因はどこにあるのか、どのように分析されたのか。今回、金額9,299万6,000円余りに対して議会軽視につながる重大な問題とお聞きしました。これは、あるのならその対策と手段はどのようにされるのか、今までどおりのやり方では解決しないと思います。

そこで、そのほか出されたほかに、行政として、ほかにこういう問題は発生していないのか、あるなら一応お聞きしたい。と言いますのは、私は以前から指摘しています公文書について、今は工事の話ですよ。私は以前から公文書について指摘していますね。しかし、全然改善がされません。これは、議会に出てくる問題と中で終わる問題があるんですね。そこで、何かいまだ今回問題発生後においても、12月5日、議会運営委員会が開催されました。そのときに配付された議案第43号、第51号、条例一部の改正の件では、改正後の文面は何だったんですか。チェックされたんですか。全然体制がなっていないじゃないですか。これは町例集、保管される文書なんですよ。第51号は。これは一文字でも変われば、解決、理解の方法が変わってくるんですよ。こういう事態、町の運営事態にかかわってくることです。こういう点、課長会議に出席されている参加者、発案される議事内容を十二分に理解されて会議が終わっているのか、私はそこに不信感を覚えます。公に出る問題じゃないです。文書の問題でも非常に議会を軽視しているところがありますよ。

きょうも同じように第43号が出ていましたね。なぜこういう文書が読めないんですか。どういように処理をされて、どういうぐあいに指導されているんですか。はたに町外研修、いろいろやられていますよ。やられているよりも先に課長クラスの方がもっと勉強するべきじゃないですか。我々も同様です。

そこで、在職期間が少しになったこの改善策をどのように取り組むのか、町長の決意のほどをお聞かせください。

議長（杉岡義信君） 町長。

町長（西村典夫君） 今、松本議員からいろいろな指摘をいただきました。本当に真摯に取り組んでいかなければならない問題であると強く感じておるところでございます。何点か御指摘をいただきました今回の追認の件におきましても、あつてはならないことであります。今までも私の口から、あつてはならないことがあつて、そのたびに二度とこういうことが起こらないよう厳しく取り組んでいく、そういう答弁もさせていただきました。そういう中で

職員力の向上プロジェクトや進んで研修に行くよう、そのような指導をしてきたわけですが、そういう取り組みのさなか、こういうことが起こってしまったということにつきまして、私はすごく責任を感じております。私の指導力や、また知識不足などが露呈をしたと思っております。そういうことにおきまして、私自身すごく反省をしておるところでございます。

そうかといって、それだけでは前には進みません。先ほど副町長が答弁されました中に、これまで取り組んできた内容につきまして、いま一度これでいいのか、これで解決していくのか、そういうことをもう一度精査して、プロジェクトの内容や研修の参加の仕方など改めて構築をさせていただきたいと思っております。今まで以上に業務改善や意識改革を徹底して職員の資質向上に組織を挙げて取り組んでいきたいと思っております。

もう1点、公文書につきまして何回も何回も議員の皆様方から誤字や間違っている点を指摘していただいております。条例などにつきまして、町の一番大事な最高クラスの位置づけのものでございます。そういうものの字が間違っている、そういうことにおきまして、とり方が変わってくるというようなことがあってはならないことでございます。正直私も、最後に決裁するのが私でございます。何回も読み直して大丈夫と思って決裁してきたわけですが、その中で気づけなかったというのが正直な思いでございます。そういうことの私の認識の浅さというものがすごく反省をしております。残された期間におきまして危機感を持って業務改善、職員の資質向上に取り組んでいきたい、そのように思っておりますので、どうか御理解をよろしくお願いいたします。

議長（杉岡義信君） 松本君。

6番（松本俊清君） 6番、松本です。今の町長の返答はごもっともなんですね。しかし、先ほども言いましたように、公金紛失時のときも同じような答弁をされているんですよ。それから何カ月たっているんですか。全然その成果が出てきていないんじゃないですか。

先ほども言いましたように原因がどこにあるのか、その分析はされたのか、町長みずからできるわけじゃないです。副町長はなぜ十二分に指導されていないんですか。また、その下には参事が1人おられるんですよ。そういう組織の運営、そういう点はどのようにお考えなんですか。今の考え、先ほど言いましたように任期中に成果が出せるんですか出せないんですか。私はそれを聞いているんですよ。できなかつたら副町長でもいいです、決意を表明してください。

議長（杉岡義信君） 副町長。

副町長（青柳良明君） ただいまの松本議員の御質問にお答えをさせていただきます。

問題の本質をたどればいろいろ原因があろうかと思っております。組織体制の問題であったり、職員の資質の問題があろうかと思っております。基本的に今回のような事案あるいは以前から御指摘いただいております公文書の問題等につきまして、例えば法制執務を担当する職員をきちっと置く、あるいは文書主任という形で職員を置き、そのものがやはりそういう職務の中においてきちっと見直しを行う、確認を行うという作業がしっかり機能しないとだめなんだろうと思っております。当然私副町長の立場としても起案、その他職員から報告ある内容をしっかりと聞かせていただきながらチェックはさせていただきます。そして、町長も同様に同じように確認をさせていただきますが、専門的な内容等について、きちっと職員みずからが、それは間違いないという確信が持てるように職員育成の観点と、さらに組織体制の中でそのような役割を持つ職の立場といたしますか、事務分掌を置くなどして体制の問題、そしてある種事務分掌の問題という形で解決をしていかなければ、単に資質向上というかけ声だけでは具体的な成果は出ないだろうと考えております。

早急にそういう組織体制、そして事務分掌上の位置づけ等、そしてそれに必要な資質の向上をあわせ検討させていただき、早急に対策を講じられるようにさせていただきたいと考えております。以上でございます。よろしく申し上げます。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。大倉君。

5番（大倉 博君） 5番、大倉です。

この第44号から第48号を見させてもらって、いわゆる契約方法についてちょっとお聞きしたいんですけども、古くはこれ平成19年度と平成20年度は指名競争になってますね。平成30年度は二つは一般競争、令和のやつがまた指名競争になっておるんですけども、今の時代は、やはり一般競争が主流じゃないんですか。できたらこういったものは、例えばパソコン入札とかもあります。例えばこれが700万円以上のやつですけども、少額のやつでもパソコン入札とか、一般入札が主流になっておると違いませんか。だからその辺、今後どうされるのか、その700万円以下についても、できたら一般競争入札にしてコストを下げるといふか、そういう方法がこれから笠置町の財政事情とかを考えた場合に大切じゃないかと思うんですけども、その辺どうですか。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの大倉議員の御質問にお答えさせていただきます。

令和元年度の笠置町のパソコン購入事業につきましては、営業活動であつたり近隣自治体

を含めて納入実績のある業者から入札参加資格申請を提出している業務7社を選ばせていただきました。結果、4社の応札で、その中での最低価格の業者になったわけでございます。大倉議員言われるように一般競争入札が普通かとは思いますが、その内容につきまして、入札をかける内容につきましてちょっと検討させていただき、一般競争入札であったり指名競争入札の場合もあるでしょうし、また内容によっては随意契約もあるかなと思いますので、それぞれの事案において適切な入札方法でやっていきたいというふうに考えております。

議長（杉岡義信君） 大倉君。

5番（大倉 博君） 5番、大倉です。

今答弁いただきましたけれども、確かに随契も今言おうと思ったんですけれども、やはり今はパソコン入札、先ほど言ったように、それとかつての私の職場でも、もう業者が嘆いていましたけれども、こんな例えば電球何ぼか、そんなんでもパソコン入札ですよ。そんなことをやっていました。だから、そういった場合も業者もいろいろ言われておりましたけれども、やはり先ほど言ったように笠置町の財政事情を考えた場合、できるだけ安く仕入れて、支出を少なくするというか、そういう方法がこれからますます大切になってくるんじゃないかと思うんです。

だからそういったこと、パソコン入札は今されているんですか。その辺どうですか。

議長（杉岡義信君） 建設産業課長。

建設産業課長（石川久仁洋君） 大倉議員の御質問にお答えしたいと思います。

今パソコン入札というお話でしたけれども、電子入札のことかと思えます。電子入札につきましては、建設産業課のほうで今年度予算化いたしまして、今準備を進めているところでございます。パソコンのほうの更新がウインドウズ10に更新されます関係で、その環境が整い次第、来年に入りまして、また電子入札というのが行えるように今準備を進めているところでございます。以上でございます。

議長（杉岡義信君） 大倉君。

5番（大倉 博君） たまたま今建設のほうから答弁いただきましたけれども、総務財政のほうとしてやる部分で一般競争がパソコンとか電子、今電子と言われましたけれども、そういったことで今のところはないんですか。今、建設のほうは来年度からやるようなことをおっしゃったけれども、どうなんですか。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの大倉議員の御質問にお答えさせていただきます。ただいま石川課長のほうから申しましたとおり、町として電子入札というような形で進めてまいりますので、それが整備されましたら、当所管に係る案件についてありましたら、その電子入札を活用させていただきたいというふうに考えております。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。

向出君。

3番（向出 健君） 3番、向出です。

いろいろな改善点は言われていますけれども、この問題の一つとして、きちっと行政としてルールにのっとって、条例にのっとって進めていくという問題があると思います。

それで、先ほど少し気になる点がありましたのでお聞きしますが、今回、さきの案件について遡及はしないという御答弁があったと思います。自治法自体は昭和61年、1986年ですね、33年前に変わっていると。それで今回、改定ということで先ほど賛成で可決されて、初めて第7号から第8号ということが効力を発揮しているわけですね。しかし、先ほど遡及しないと言いましたから、考えてみますと、この過去の今出ている案件は対象になっていない、条例上、議決の対象にならないということになってしまうと思うんですね。これはやはり行政としてどう考えておられるのか、ルール、条例というのも解釈も含めてきちっと整合性を持って進めていかなければいけないと思うんですね。このあたりはどのように認識されておられるのか。ちょっと自身の考えでいきますと、過去に遡及する、だからこそ過去の契約も今回上げるべきであるというふうになると思うんですね。きょう成立していますから、きょう以降の契約については、さきの改定された分でいけると思うんですが、遡及しないという解釈をとっておられるので、これどういうふうに整合性がついているのかなと、この点について確認をしたいと思います。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの向出議員の御質問にお答えさせていただきたいと思っております。

第43号で議決いただきました件については、先ほど申しましたように本日議決いただきましたので、本日議決ということで過去には遡及しないということです。それから今回、第44号から第48号につきましても、議決につきましては本日いただけましたら、本日が議決日になります。ただ議決日はそうでありますけれども、仙台高裁等の判例によりますと、契約時にさかのぼって有効というような判例が出ておりますので、お互い追認の議決にして

も、この前第43号の改正につきましても本日が議決日ということでの整合性があるのかなというふうに考えてはおります。

議長（杉岡義信君） 向出君。

3番（向出 健君） そうしますと、要するに過去の分については、その時点においては議決対象ではなかったけれども、実際的には取り扱うべき内容であるので今回、議決対象として行政の判断として上げたという認識でいいんですね。条例的に必要だから、過去の時点においては必要がなかったけれども、要するに対象とした第7号と第8号の号のずれがありますから、対象になっていなかったという認識なんでしょうか。そうしますと過去700万円以上の議決を上げてきたことはなかったということになるのか、そのあたりが、やはりきちっと行政として整合性を持ってやっていかないといけないと思うんですね。それは行政の仕事というのは条例に基づいて行いますので、そのことを聞いているわけですがけれども、そのあたりは今のような解釈でいいんでしょうか、もう一度確認だけしたいと思います。

議長（杉岡義信君） 総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） ただいまの向出議員の御質問にお答えさせていただきます。

過去の議案につきましては、今回上げさせていただいた700万円以上の動産の購入についてはございません。今回が確認した全てでございます。

それから条例につきましては、過去につきましてもその第3条に基づいて、議会の議決に付すべき第3条に700万円以上というような文言がありますので、それに基づいて大丈夫だというふうに考えております。

議長（杉岡義信君） 向出君。

3番（向出 健君） 副町長にちょっとお尋ねしたいと思うんですけれども、第7号と第8号対象が違うんですね。過去第7号のまま、本来改正すべきを改正しなくて今回出たということになるんです。そうすると、過去はそれに該当する案件が第7号と第8号で違いますから、対象になっていないということになってしまうと思うんですね、そのままの解釈でいきますと。なので、要するに何が言いたいかといいますと、先ほどから何度も言っていますけれども、行政はやはりきちっと条例に基づいて、きちっとしたルールに基づいて運営しないといけないので、矛盾があるような解釈、そういう運営をしてしまうとやはり問題が起きますので、再度どういうことなのか、どういうふうに考えて、過去の分も含めておられるのか、その点再度確認をしたいと思います。

議長（杉岡義信君） 副町長。

副町長（青柳良明君） ただいまの向出議員の御質問にお答えさせていただきます。

条例よりも上位にあります地方自治法そのものが既に改正されております。それを適用させていただくということで本件は処理できるものと考えております。以上でございます。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

議案の順に討論、採決を行います。

まず、議案第44号、平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件（追認）の討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。

議案第44号、平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件（追認）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第44号、平成19年度防災備蓄倉庫及び防災資器材の購入の件（追認）は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第45号、平成20年度町営テレビ放送スタジオ機器改修事業の件（追認）の討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第45号、平成20年度町営テレビ放送スタジオ機器改修事業の件（追認）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第45号、平成20年度町営テレビ放送スタジオ機器改修事業の件（追認）は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第46号、平成30年度笠置いこいの館厨房設備整備事業の件（追認）の討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第46号、平成30年度笠置いこいの館厨房設備整備事業の件（追認）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第46号、平成30年度笠置いこいの館厨房設備整備事業の件（追認）は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第47号、平成30年度笠置町戸籍情報システム導入業務の件（追認）の討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第47号、平成30年度笠置町戸籍情報システム導入業務の件（追認）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第47号、平成30年度笠置町戸籍情報システム導入業務の件（追認）は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第48号、令和元年度笠置町パソコン購入事業の件（追認）の討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第48号、令和元年度笠置町パソコン購入事業の件（追認）は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第48号、令和元年度笠置町パソコン購入事業の件（追認）は原案のとおり可決されました。

この際、10分間休憩します。

休 憩 午前10時52分

再 開 午前11時02分

議長（杉岡義信君） 休憩前に引き続き再開します。

議長（杉岡義信君） 日程第10、議案第49号、特別職の職員で常勤の者の給与の額の特例に関する条例一部改正の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第49号、特別職の職員で常勤の者の給与の額の特例に関する条例一部改正の件について提案理由を申し上げます。

議案第44号から第48号において、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会での議決が必要な動産の取得について議会の議決を経ずに契約したことを重く受けとめ、管理監督者としての責任から、令和2年1月の給料を町長は100分の10、副町長は100分の5を減額するものでございます。御承認いただきますようお願いをいたします。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） それでは、議案第49号、特別職の職員で常勤の者の給与の額の特例に関する条例一部改正の件について御説明申し上げます。

それでは、新旧対照表により御説明いたします。2ページをごらんください。

今回の改正では、町長については給料月額100分の10を、副町長については給料月額100分の5をそれぞれ減額して支給することに改正しております。期間は、令和2年1月1日から令和2年1月31日までの間です。

なお、第2項につきましては、平成31年1月限りの規定でしたので削除しております。

以上、説明を終わらせていただきます。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありますか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第49号、特別職の職員で常勤の者の給与の額の特例に関する条例一部改正の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第49号、特別職の職員で常勤の者の給与の額の特例に関する条例一部改正の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第11、議案第50号、特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に

関する条例一部改正の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第50号、特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例一部改正の件について提案理由を申し上げます。

一般職の国家公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、特別職の国家公務員の給与に関する法律もあわせて改定され、期末手当の支給月数が引き上げられることとなりましたので、当町の特別職の期末手当についても年間の支給月数を0.05月引き上げ、総支給月数を3.4月に改正するものでございます。

なお、議会議員の期末手当についても同様、年間の支給月数が0.05月引き上げとなっていますが、平成30年12月議会において笠置町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正において、常勤の特別職に準ずるとして改正しておりますので、議案としては提出していないことを申し添えます。御審議の上、御承認いただきますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。職員力向上担当参事。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 失礼いたします。

それでは、議案第50号、特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例一部改正の件につきまして説明させていただきます。

先ほど町長からの説明にもありましたように、特別職の国家公務員の給与に関する法律が改正されたことに伴いまして、当町の特別職につきましても期末手当を引き上げるものとなっております。

それでは、新旧対照表のほうで説明させていただきますので、2ページをごらんいただきますようお願いいたします。

まず、第1条関連でございます。第1条につきましては、現在、6月、12月ともに100分の167.5を期末手当として支給しておりますが、12月の期末手当のみ0.05月を加算いたしまして100分の172.5とするものでございます。こちらにつきましては、12月1日から適用するものとなっております。

続きまして3ページ、第2条でございます。第2条につきましては、第1条におきまして12月に加算いたしました0.05月を6月と12月それぞれに配分して、6月、12月それぞれ100分の170を支給し、年間の支給月数を100分の343.4月と改正するものでございます。第2条につきましては、令和2年4月1日から施行するものとなっております。

ます。

すみません、第1条は令和元年12月1日から適用し、年内支給ということで検討させていただきます。以上です。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第50号、特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例一部改正の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第50号、特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例一部改正の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第12、議案第51号、笠置町職員の給与に関する条例一部改正の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第51号、一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件について提案理由を申し上げます。

令和元年8月に発表されました人事院勧告により、一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が11月15日成立、11月22日に公布されましたので、当町職員の給与に関する条例の一部改正を行うものでございます。

内容は、給料表の改定と勤勉手当の支給月数の引き上げ、住居手当の改正となっております。御審議の上、御承認いただきますようお願いをいたします。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。職員力向上担当参事。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 失礼いたします。

それでは、議案第51号、笠置町職員の給与に関する条例一部改正の件につきまして説明させていただきます。

先ほど町長からの説明にありましてとおり、令和元年8月に発表されました人事院勧告を

受けて職員の法律も変わりましたので、当町の給与条例も改正するものでございます。

それでは、新旧対照表で説明させていただきますので3ページをお願いいたします。

第1条関連でございます。第1条につきましては、給料表の改定と勤勉手当の支給月数の改正を行っております。勤勉手当につきましては、12月に支給する勤勉手当に0.05月加算し、100分の97.5に改正するものでございます。これによりまして年間の支給月数は100分の190月、1.9月の支給となっております。

第18条の7におきましては、現行では第6項におきまして再任用職員に係るものを規定しておりました。この規定の方法につきましては国と少し違うような、再任用だけ別枠でとっておるような内容でしたけれども、今回の改正にあわせまして、第2項におきまして第1号で一般職員、第2号におきまして再任用職員として規定させていただいたものです。内容につきましては変更ございません。この改正につきましては、4月1日から適用し、給料の差額、勤勉手当の差額を支給するものとなっております。

続きまして、第2条関連でございます。4ページをお願いいたします。

第2条におきましては、住居手当の改正と第1条で引き上げました勤勉手当の割り振りの改正を行っております。文言整理を行いまして、第3条におきまして休日給としておりましたものを国と同様休日勤務手当というものに文言整理を行っております。第12条の2における住居手当ですが、現行は1万2,000円以上の住宅家賃を支払っている職員を対象としておりましたが、1万2,000円から1万6,000円の家賃に引き上げとなっております。第2項におきましては、その家賃に対する住宅手当の額を規定しております。第1号では、1万6,000円を超え2万7,000円以下の職員に対しては家賃額から1万6,000円を控除した額、第2号におきましては、2万7,000円を超える家賃を支払っている職員に対して、その2万7,000円を控除した額から2分の1を控除し2分の1で除した額に1万1,000円を加算した額、上限を1万7,000円としておりますので、家賃額が2万8,000円の住居手当の上限となっております。

5ページになりまして、勤勉手当でございます。第1条で改正いたしました12月の勤勉手当を6月と12月のそれぞれの勤勉手当に割り振りまして100分の95、合計で100分の190を加算するというものに改正をしております。

以上、今回の改正の説明となっております。第2条におきましては、施行は令和2年4月1日からとなっております。以上です。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

(「なし」と言う者あり)

議長(杉岡義信君) これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

(「なし」と言う者あり)

議長(杉岡義信君) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。

議案第51号、笠置町職員の給与に関する条例一部改正の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

議長(杉岡義信君) 起立全員です。したがって、議案第51号、笠置町職員の給与に関する条例一部改正の件は原案のとおり可決されました。

議長(杉岡義信君) 日程第13、議案第52号、笠置町印鑑条例一部改正の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長(西村典夫君) 議案第52号、笠置町印鑑条例一部改正の件について提案理由を申し上げます。

成年被後見人等の権利の制限にかかわる措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、印鑑登録事務処理要綱が改正され、令和元年12月14日から実施されますので、当町の印鑑条例についても所要の改正をするものでございます。御審議いただき、御承認いただきますようお願いをいたします。

議長(杉岡義信君) 議案の説明を求めます。税住民課長。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱(前田早知子君) 失礼いたします。

それでは、議案第52号、笠置町印鑑条例一部改正の件につきまして説明させていただきます。

現行の印鑑条例における登録資格では、成年被後見人を一律に除外しておりましたが、成年被後見人の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律、これが令和元年12月14日から実施されますので、当町の関係する印鑑条例につきましても改正するものでございます。

新旧対照表の2ページをごらんいただきたいと思います。

第2項におきまして、印鑑登録の登録資格のある者の中に第2項第2号といたしまして「成年被後見人」と記載しておるものを、「意思能力を有しない者（前号に掲げる者を除く。）」ということですので、15歳未満の者を除いた意思能力を有しない者というものに改正しております。成年被後見人に代理人が同行し、かつ当該成年被後見人本人からの申請があるときは、意思能力を有するというものとして申請を受け付けることとなります。この施行が12月14日からということになっております。以上です。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。西君。

2番（西 昭夫君） 2番、西です。

意思能力を有しない者というのは、誰がどう判断されるんですか。

議長（杉岡義信君） 税住民課長。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 西議員の御質問にお答えさせていただきます。

成年被後見人となられている方につきましては、同行代理人に同行していただき本人の意思があればというところになるんですけれども、後見人さんがいらっしゃらない場合というところで、これは窓口での判断ということになっております。成年被後見人を削除しておりますので、後見人さんでない方も意思能力、印鑑登録をしに来たかどうかは図れない方であったりというところの判断になるかなと。ただ、今のところまだ判例といいますか例がございませんので、どのような判断というところはございますけれども、今、府のほうからなり法律の解釈としては、そのように通達が来ているところです。以上です。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第52号、笠置町印鑑条例一部改正の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第52号、笠置町印鑑条例一部改正の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第14、議案第53号、笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第53号、笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件について提案理由を御説明申し上げます。

介護保険法（平成9年法律第123号）等の一部改正に伴い、市町村が行うこととされています介護予防・日常生活支援総合事業の利用者負担金を定めた関連条例等について所要の改正をするものでございます。施行日は公布の日でございます。よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。保健福祉課長。

保健福祉課長（東 達広君） 議案第53号、笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件につきまして御説明申し上げます。

議案書2ページの新旧対照表で御説明申し上げます。

左のほうに現行の利用者負担金が条例では定まっておりますが、今回、総合事業のうち町独自の利用者負担金を徴収する根拠として本条例で定めているところですが、利用者負担金の事業単価、事業内容等、実施に係ります細かな取り決めは、もともと要綱委任しているところでございます。今般、制度改正等にあわせ要綱を改正するに当たり、条例で定めていた利用者負担金の部分を削除し要綱に一元化し、管理しやすく、またわかりやすい体系にさせていただくため条例から削除、要綱で再編するというふうなものでございます。

削除だけでは中身がわかりませんので、この条例がそのまま要綱のほうに移っております。金額等は一切変更はございませんが、参考に要綱をつけさせていただいているのが12ページから13ページにかけてでございます。政令の改正に伴いまして、表現等もあわせて改正しております。

若干具体的に申しますと、12ページのほうで介護予防・生活支援サービス事業、これは法律の1号事業というふうなものでございますが、訪問サービス事業の中で、総合事業で実施する分について今までは国が示す単価という書き方だったんですが、介護予防訪問介護相当サービスという表現に改めまして、利用者負担金については、第5条の規定によるサービスに要する費用から第6条に規定する支給されるサービス支給費の額を控除した額というふうな表現内容に変えさせていただいています。それから、訪問型サービスA事業、緩和型の

訪問介護サービス給付事業でございますが、これは30分未満50円、60分未満150円、90分未満200円というふうなところは現行の制度をそのままこちらへ持ってきているところでございます。

それから13ページにわたります、今度は通所型サービス事業、デイのサービスでございます。これは、笠置町は現在デイサービスに委託しているところでございまして、事業を実施しているところでございまして、表現を介護予防介護相当サービスという表現に変えまして、利用者負担金については、先ほどの訪問型サービスと同じような表現に変えさせていただいております。それから、介護予防ケアマネジメントについては変更ございません。それからもう一つ、町の総合事業として重要な事業をしておりますのが一般介護予防事業でございます。これは、今まで要綱では町長が定める額となっておりますが、こちらのほうで居場所づくり事業200円、運動機能向上・認知症予防事業300円、1回当たりの利用負担金、これも変更はしておりませんが、そのまま要綱のほうに書いているというふうなところでございます。

あと要綱をつけておりますが、政令に係ります文言訂正等々でございます。以上でございます。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

まず、原案に反対者の発言を許します。向出君。

3番（向出 健君） 3番、向出です。

議案第53号、笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件について反対討論いたします。

今回は、負担金について要綱に委任するという内容になっています。利用者にとって負担金は直接生活にかかわってくる問題なので、議会の議決事項、条例として残すべきと考えます。

以上の理由をもって反対討論といたします。

議長（杉岡義信君） 次に、原案の賛成者の発言を許します。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第53号、笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(賛成者起立)

議長（杉岡義信君） 起立多数です。したがって、議案第53号、笠置町介護予防・日常生活支援総合事業に係る利用者負担金の徴収に関する条例一部改正の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第15、議案第54号、笠置町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第54号、笠置町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件について提案理由を申し上げます。

地方自治法及び地方公務員法が一部改正され、令和2年4月1日から一般職の会計年度任用職員制度が導入されます。当町における会計年度任用職員の任用に関し給与及び費用弁償等を規定する必要がありますので、地方自治法第24条第5項の規定により条例を制定するものでございます。御審議いただき、御承認賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。職員力向上担当参事。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 失礼いたします。

それでは、議案第54号、笠置町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件について内容説明をさせていただきます。

先ほど町長からの説明にもありましたように、令和2年4月1日から会計年度任用職員制度が導入されます。この制度ですけれども、現行の地方公務員法第3条第3項第3号におきまして臨時又は非常勤の顧問、参与、調査員、嘱託員及びこれらの者に準ずる者の職というものが規定されておりました。これを専門的な知識、識見を有し労働者性が低い職で助言、調査、診断等の事務である職員を特別職として規定し、いわゆる笠置町における嘱託職員や臨時職員など事務補助に当たっている者につきましては一般職に移行することになります。これによりまして、特別職の任用及び臨時的任用が厳格化、一般職の非常勤職員の任用に関する制度も明確化となるものでございます。

会計年度任用職員に関する職員の給与及び費用弁償等に関する条例以外にも一般職の給与

条例等関係する条例の改正もございますが、これにつきましては3月議会に関連条例として提出させていただく予定です。また、臨時職員、今後の臨時的任用の職員は常勤職員に欠員が生じた場合や一時的に業務量が増加する時期での任用など、緊急な場合等で認められることとなりますので、うちの雇用している嘱託職員、臨時職員につきましては、今回提案させていただきました条例に該当してくる職員として対応していく必要があるというものでございます。

それでは、条例につきまして説明させていただきます。

まず、第1条におきましては、先ほど説明いたしました趣旨を規定させていただいております。

第2条におきましては、この会計年度職員がどのように分かれるかによりまして、以下の条例等も変わってくるもので、フルタイム会計年度任用職員というものは、法の規定を書いておりますが、常勤職員と同じように1週間当たりの勤務時間が38時間45分間勤務していただく方となっております。第2号のパートタイムの会計年度任用職員につきましては、一般職の職員よりも勤務時間が短い方、38時間45分の勤務時間に満たない方を規定しております。

第3条におきましては、フルタイム職員に支給する給与の種類といたしまして規定しております。第1項で、フルタイムは給料、地域手当、通勤手当、時間外勤務手当、夜勤手当、休日勤務手当、期末手当を支給、パートタイムの会計年度任用職員につきましては、報酬及び期末手当を支給することになっております。給与の支払いを一般職と同じように、第2項におきまして給与振込、口座振替により支払うことを規定しております。

第4条以降にはフルタイム職員についての規定をしております。第4条では給料表を規定しておりますが、後ろにつけさせていただいております給料表は、一般職の給料表の1級と2級を使用するというように規定しております。一般職の職員で今年度のように給与改定があった場合も、この会計年度職員の1級、2級も改定するというようになってきます。

第5条におきましては、フルタイム会計年度職員の職務の級を規定しております。最終のページですが、別表2といたしまして、1級では定型的または補助的な業務を行う職務に格付けをする、2級には相当の知識または経験を必要とする職務に格付けするというようになっております。

第6条につきましては、号給の決定でございます。フルタイム職員は、先ほどの給料表を使いまして号給の決定をしていくこととなっております。

第8条につきましては、地域手当の支給が可能ということになっております。現在、笠置町は地域手当の無支給地でございますが、派遣ということになりますと地域手当の対象地域への勤務ということもありますので、地域手当の支給が可能としております。

第9条では、通勤手当を規定しております。これにつきましては、一般職の通勤手当の規定を準用するとしております。

第10条、時間外勤務手当、第11条は休日勤務手当、第12条は夜勤手当の規定となっております。これは、いずれも一般職を準用するということにしております。

第13条は、端数処理の規定でございます。

第14条におきましては、フルタイム会計年度職員に支給する期末手当を支給することとなっております。一般職と同様、年間の支給は2.6月の支給となっております。対象は6カ月以上の勤務をした職員となっております。最初の6カ月以上に至ったときに改めて支給するというふうな規定となっております。

続きまして第17条、4ページになります。第17条からはパートタイムの会計年度任用職員についての規定となっております。第17条は、パートタイム職員の報酬の規定です。報酬の考え方といたしまして、月額給と第2項の日額、第3項では時間額によりまして任用するということで規定しておりますが、基本となるのは、会計年度フルタイムの職員の給料表を勤務時間数等で割り返したものが基本となる時間給であったり日額というものになっております。

第18条では、その報酬についての時間外手当の規定となっております。第18条、第19条、第20条におきましても、時間外、休日勤務手当、夜勤手当というところで、これも準ずるというふうにして報酬を支給するということになっております。

第22条では、パートタイムの会計年度職員にも期末手当を支給するという規定となっております。こちらも同じく任用時の報酬額に対しまして年額、最高で2.6月、一般職の期末手当と同じ月数となっております。ただし、ちょっと飛びまして9ページになりますが、附則の中にパートタイムの会計年度職員につきましては経過措置をとらせていただいております。第2項におきまして、令和2年度におきましては100分の130、6月と12月それぞれ1.3月を支給するものを0.6月ですので年間1.3月、第3項におきまして令和3年度では100分の100というところで年間2月分、令和4年度以降にフルタイム2.6月に移行するというふうに附則の中でうたわせていただいております。

それから第23条は、同じく報酬の支給ですが、こちらにつきましては現行と変わらず月

未締めの上月払いということをお考えのところでございます。

第26条ですが、パートタイムの通勤に係る費用弁償を支給するというようにしております。これは、現行臨時職員さんにつきましては通勤手当にかわるものというものを支給しておりませんでした。通勤にかわる費用弁償として支給するものでございます。計算といたしましては、これはまた規則のほうで規定させていただくんですけれども、一般職に準ずる形で計算をしていきたいと思っております。ただし勤務時間数の関係上、実費弁償、公共交通機関等を使われた場合、実費弁償1回当たりの電車賃というふうな計算になるということもあわせて規定したいと思っております。

現行の嘱託職員、それから臨時職員の方の不利益とならないような給料の位置づけであったり、勤務時間、休暇等の規定を考えておりますので、それにつきましては、また御説明させていただきたいと思っております。以上です。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑ありませんか。西岡君。

1番（西岡良祐君） 1番、西岡です。

ちょっと確認だけしておきたいんですけれども、今12月現在のフルタイムのほうとパートタイムのほう、これ対象人員は何名になっているんですか。

議長（杉岡義信君） 職員力向上担当参事。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 失礼いたします。西岡議員の御質問にお答えさせていただきます。

現行嘱託職員として来ていただいている方は13名になります。今の状況で全ての方がフルタイムの条件は整えておられますが、御本人様の希望もございまして、今後説明会等でまた御説明させていただきたいと思っております。パートタイムの会計年度任用職員に移行するのは、大体30名程度かと思っております。ただこの中でも単発で来られている方という、今後臨時的任用、緊急性を要したり単発で来られているという方につきましては臨時的任用というところがございますので、それを除いて約30名程度ということで考えております。以上です。

議長（杉岡義信君） 大倉君。

5番（大倉 博君） 5番、大倉です。

今、フルタイム13名とおっしゃったけれども、これちょっと関係あるかわかりませんが、今問題になっている年金の問題、これらの方もやはり対象になるんですか。国ではいろいろ言われていますけれども、どうなんですか、その辺。

議長（杉岡義信君） 職員力向上担当参事。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 失礼いたします。大倉議員の御質問にお答えさせていただきます。

フルタイムのまず説明をさせていただきますと、今、現行でも厚生年金に入っております。フルタイムの会計年度職員が1年以上経過しますと、今度は共済組合への加入が可能となりますので共済年金の対象者となってきます。パートタイムの会計年度職員は、今も現行勤務時間数によりまして厚生年金に加入していただいている方もいらっしゃいます。それも同様に週の勤務時間数が大体30時間を超える方につきましては厚生年金に加入となります。それ以外の方は国民年金になってくることとなります。以上です。

議長（杉岡義信君） ほかにありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第54号、笠置町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第54号、笠置町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定の件は原案のとおり可決されました。

この際、暫時休憩します。再開は13時から。

休 憩 午前11時50分

再 開 午後 1時00分

議長（杉岡義信君） 休憩前に引き続き再開します。

議長（杉岡義信君） 日程第16、議案第55号、令和元年度笠置町一般会計補正予算（第7号）の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第55号、令和元年度笠置町一般会計補正予算（第7号）について提案理由を申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ1,046万9,000円を追加し、歳入歳出総額を16億8,917万8,000円とするものでございます。

歳出の主な内容は、産業振興会館2階のどんちょう修繕事業に112万2,000円、小規模災害復旧工事に168万円、給与条例等の改正に伴う人件費の増額分を計上しております。歳入の主なものは、国庫支出金及び府支出金や地方交付税、繰越金を充当しています。御審議の上、御承認いただきますようお願いをいたします。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。総務財政課長。

総務財政課長（岩崎久敏君） それでは、議案第55号、令和元年度笠置町一般会計補正予算（第7号）の件について説明させていただきます。

総務財政課からは、歳入と総務財政課所管の予算について御説明いたします。

まず、9ページ、歳入のほうから説明させていただきます。

10款地方交付税、1目地方交付税で191万9,000円を計上しております。こちらについては財源留保しておりますが、今回の財源不足分として計上させていただいております。

13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金で132万4,000円の増額補正をしております。1節社会福祉費負担金では、障害者自立支援給付事業の2分の1の額116万9,000円を、3節児童福祉費負担金では社会増減等に伴い児童手当負担金を15万5,000円計上させていただいております。

14款府支出金、1項府負担金、1目民生費府負担金では、59万8,000円の増額補正をしております。1節社会福祉費負担金では障害者自立支援給付事業の4分の1の額58万4,000円を、3節児童福祉費負担金では社会増減等に伴い児童手当負担金1万4,000円を計上させていただいております。

2項府補助金、2目民生費府補助金では46万8,000円の増額補正をしております。事業費増に伴い障害児（者）医療費助成では39万9,000円、子育て支援医療費助成事業では3万7,000円、ひとり親家庭医療費助成事業として3万2,000円増額計上しております。

10ページをごらんください。18款繰越金、前年度繰越金といたしまして616万円を計上しております。こちらについては財源留保しておりますが、今回の財源不足分として計上させていただいております。歳入については以上となります。

続きまして、総務財政課所管の歳出について説明させていただきます。

なお、給料、職員手当、共済費また負担金の一部におきましては、給与条例等の改正に伴う増額分の計上となっておりますので、各費目につきましての説明は割愛させていただきますので御了承ください。

それでは、歳出11ページをお願いいたします。

1款議会費、1項議会費、19節負担金補助及び交付金で、相楽東部広域連合負担金議会分として計上しております。内容は、相楽東部広域連合予算の補正に伴う費用として4万3,000円を計上しております。

12ページをお願いいたします。2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費におきまして223万円の増額補正を行っております。

14節使用料及び賃借料の93万5,000円のシステム使用料ですが、住民情報システムの縮退サーバー及び外字管理サーバーのOSを更新したことによるライセンス費用となっております。

19節負担金補助及び交付金は、TRY-Xシステム負担金61万6,000円を計上しております。これは、法制度改正分の額確定に伴う負担金の増となっております。

5目財産管理費、11節需用費、修繕料として20万7,000円の増額補正を行っております。第2庁舎1階事務室照明及び運動公園時計の修繕の費用として計上しております。

18ページをお願いいたします。

8款消防費、1項消防費、1目常備消防費では相楽中部消防組合補正（第1号）に伴う分担金を40万6,000円増額補正しております。2目非常備消防費では5万4,000円を計上しております。これにつきましては、令和元年度消防団等活動表彰式出席に伴う旅費として計上させていただいております。以上、総務財政課所管のものについて説明を終わらせていただきます。

議長（杉岡義信君） 税住民課長。

職員力向上担当参事兼税住民課長事務取扱（前田早知子君） 失礼いたします。

税住民課所管の補正予算について説明させていただきます。

16ページをお願いいたします。

16ページ、中段、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の需用費に6万3,000円を計上させていただいております。これは西部霊園入り口のグレーチングが盗難に遭っていることが発覚し、その修繕といたしましてグレーチングを購入するものでございます。

下段、その次の2項清掃費、1目塵芥処理費につきましては306万8,000円を負担金補助及び交付金として計上させていただいております。相楽東部広域連合の分担金といたしまして、東部クリーンセンターの休止中の焼却炉の清掃と4月以降に廃プラスチックごみのごみ袋を使用することに伴いまして作成いたしますので、その分の補正といたしまして計上させていただいたものでございます。以上、税住民課所管のものについて終わらせていただきます。

議長（杉岡義信君） 保健福祉課担当課長。

保健福祉課担当課長（大西清隆君） 保健福祉課が所管します歳出予算について、主な事業を御説明させていただきます。

予算書の13ページをごらんください。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費で502万5,000円を計上しております。主なものとしましては、次のページをごらんください。

扶助費の障害者自立支援給付費で234万円を計上しております。これにつきましては、新たに給付対象者が2名増加したものでございます。同款同項4目老人福祉費で3万円計上しております。平成30年度人間ドック関連補助金の精算金として後期高齢者医療特別会計へ繰り出すものでございます。同款同項5目老人福祉施設費で85万5,000円を減額しております。主なものとしまして、需用費で68万5,000円を増額しております。これにつきましては、デイサービス専用の給水給湯設備を整備したことに伴います水道料金とLPガス代でございます。

次のページをごらんください。

負担金補助及び交付金で181万円を減額しております。これにつきましては、フェイス撤退による現額でございます。

3款民生費、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費で25万8,000円を計上しております。主なものとしまして、扶助費で18万5,000円を計上しております。これにつきましては、対象児童増加によるものでございます。同款同項2目保育園費で40万5,000円を計上しております。主なものとしまして、需用費で11万6,000円を計上しております。ゼロ歳児保育のための消耗品等でございます。保健福祉課が所管します予算につきましては以上でございます。

議長（杉岡義信君） 商工観光課長。

商工観光課長兼総務財政課担当課長（小林慶純君） 失礼いたします。

商工観光課が所管いたします議案の説明をさせていただきます。

18ページ、よろしくお願いたします。18ページ上段、6款商工費、1項商工費、4目産業振興会館費、11節需用費、修繕料といたしまして127万4,000円を計上させていただきます。内訳といたしまして、産業振興会館2階ホールに設置しております舞台のどんちょうの修繕に112万2,000円、また1階の事務所内のブラインド修繕費に15万2,000円、合計127万4,000円を計上させていただきます。御審議のほどよろしくお願いたします。

議長（杉岡義信君） 建設産業課長。

建設産業課長（石川久仁洋君） 建設産業課が所管します歳出について御説明いたします。

17ページをごらんください。中段でございます。

5款農林水産業費、林業費、林業振興費、13節委託料で20万4,000円の補正をお願いしております。内容につきましては、森林資源情報システムのデータ等の移行でございまして、PC本体がウィンドウズ10に更新されることに伴い、森林JISシステムを現行PCから移行する業務を委託するものでございます。

次に、19ページをお願いします。

13款災害復旧費、公共土木施設災害復旧費、道路橋梁災害復旧費、15節工事請負費で168万円の補正をお願いしております。内容につきましては、これまでのたび重なる豪雨によりまして有市地内の里道の陥没や水路の破損等がありましたので、小規模災害復旧事業として3カ所の復旧工事を実施するものでございます。以上でございます。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第55号、令和元年度笠置町一般会計補正予算（第7号）の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第55号、令和元年度笠置町一般会計補正予算（第7号）の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第17、議案第56号、令和元年度笠置町簡易水道特別会計補正予算（第1号）の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第56号、令和元年度笠置町簡易水道特別会計補正予算（第1号）の件について提案理由を御説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出予算の総額6,725万9,000円に歳入歳出それぞれ198万3,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6,924万2,000円とするものでございます。

主な提案内容は、歳入では、歳出の増額に伴い財政調整基金繰入金と繰越金を増額しております。歳出では、人事院勧告による給与表の改定等に伴う給料や職員手当等の同額補正でございます。よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。建設産業課長。

建設産業課長（石川久仁洋君） 議案第56号、令和元年度笠置町簡易水道特別会計補正予算の件について御説明いたします。

初めに、歳入について御説明いたします。6ページをごらんください。

4款繰入金、基金繰入金、財政調整基金繰入金で98万3,000円の補正をお願いしております。内容につきましては、歳出の増加に伴います財源の不足分を基金繰入金で計上しています。また、次の繰越金につきましても100万円の補正をお願いしております。これにつきましても、歳出の増加に伴います財源の不足分を繰越金で計上しています。

続いて、歳出の説明に移ります。7ページをごらんください。

1款総務費、総務管理費、一般管理費で給料や職員手当等で198万3,000円の補正をお願いしております。内容につきましては、人事院勧告による給与表の改定と職員の扶養状況の変更並びに水道施設、機器等の異常やふぐあいの解消、漏水復旧作業等の緊急的な対応により休日・夜間の時間外勤務が増加し、今後の時間外勤務手当に不足が見込まれますので増額補正するものです。

以上、歳入歳出それぞれ198万3,000円を増額し、総額をそれぞれ6,924万2,000円としています。これで簡易水道特別会計補正予算の説明を終わります。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第56号、令和元年度笠置町簡易水道特別会計補正予算（第1号）の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第56号、令和元年度笠置町簡易水道特別会計補正予算（第1号）の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第18、議案第57号、令和元年度笠置町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第57号、令和元年度笠置町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件について提案理由を御説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ3万2,000円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2億5,218万1,000円とするものでございます。

主な提案内容は、一般介護予防事業にこのたび保険者機能強化交付金が交付され財源組み替えをするものでございます。よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。保健福祉課担当課長。

保健福祉課担当課長（大西清隆君） 失礼いたします。

議案第57号、令和元年度笠置町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件について御説明させていただきます。

予算書の6ページをごらんください。

2、歳入、1款保険料、1項介護保険料、1目第1号被保険者保険料で22万6,000円を減額しております。これにつきましては、現年度分特別徴収保険料の減額でございます。

3款国庫支出金、2項国庫補助金、8目保険者機能強化推進交付金で22万6,000円を計上しております。これにつきましては、交付金が入ってくるということで増額しております。

7款繰越金、1項繰越金、1目繰越金で3万2,000円を計上しております。前年度繰越金でございます。

次のページをごらんください。

3、歳出、3款地域支援事業費、2項一般介護予防事業費、1目一般介護予防事業費、これにつきましては財源を一般財源から国府支出金に組み替えをするものでございます。

6款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、1目第1号被保険者保険料還付金で3万2,000円計上しております。これにつきましては、第1号被保険者の保険料の還付金でございます。以上でございます。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と言う者あり）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第57号、令和元年度笠置町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第57号、令和元年度笠置町介護保険特別会計補正予算（第2号）の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） 日程第19、議案第58号、令和元年度笠置町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件を議題とします。

本件について提案理由の説明を求めます。町長、西村典夫君。

町長（西村典夫君） 議案第58号、令和元年度笠置町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件について提案理由を御説明申し上げます。

今回の補正は、歳入歳出それぞれ3万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5,885万6,000円とするものでございます。

提案内容は、長寿・健康増進補助事業の過年度精算によります返還金確定によります同額補正でございます。よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

議長（杉岡義信君） 議案の説明を求めます。保健福祉課担当課長。

保健福祉課担当課長（大西清隆君） 失礼いたします。

議案第58号、令和元年度笠置町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件について御説明させていただきます。

予算書の6ページをごらんください。

2、歳入、3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目一般会計繰入金で3万円を計上しております。過年度分の精算繰入金でございます。

次のページをごらんください。

3、歳出、3款諸支出金、1項償還金及び還付加算金、3目事業費還付金として3万円計上しております。これにつきましては、人間ドック関連補助金の30年度分の精算金でございます。

以上でございます。

議長（杉岡義信君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（発言する者なし）

議長（杉岡義信君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

この採決は起立によって行います。議案第58号、令和元年度笠置町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

議長（杉岡義信君） 起立全員です。したがって、議案第58号、令和元年度笠置町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の件は原案のとおり可決されました。

議長（杉岡義信君） これで本日の会議を閉じます。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれにて散会します。

第2日目は12月18日午前9時30分から開会します。通知は省略します。

本日は御苦労さまでした。

散 会 午後1時33分